

次世代社会インフラ用ロボット開発・導入検討会 設置趣旨（案）

1. 背景・趣旨

国民の暮らしと産業を支える社会インフラの整備及び維持管理においては、従来の人力によるものから、建設機械や測量機器等の新しい技術を取り入れることで、その整備等のスピードと品質の向上、構造物の大型化・複雑化が実現されてきた。

現在、我が国の社会インフラを巡っては、老朽化の進行、地震及び風水害等の災害リスクの高まり、人口減少・少子高齢化等の課題に直面しており、特に社会インフラの維持管理及び災害対応に関して、その効果・効率の一層の向上のため、それらを支えるロボット技術の開発・導入を迅速且つ集中的に進めていくことが求められている。

そこで、社会インフラの現場ニーズに基づき、国内外の異分野も含めた産学の技術シーズを踏まえ、「維持管理・災害対応（調査）・災害対応（施工）」の3つの重要な場面におけるロボットについて、その開発・導入分野を明確化するなど実用化に向けた方策を検討するため、本検討会（仮称）を開催する。

2. 検討内容

- (1) 社会インフラ（道路及び河川・砂防等）の維持管理及び災害対応におけるニーズ、及び、関連技術動向を踏まえ、ロボット技術の導入が期待される分野の明確化
- (2) 今後、両省等で実施すべき事項について
（技術開発を促進する方策、現場適用にあたっての検証・評価・導入方策等）

3. 開催時期・頻度

- (1) 7月に開始、年内に検討内容をとりまとめ
- (2) 月に1回程度の開催（1～2回の局長級を含む）
- (3) 8～10月に社会インフラ現場ニーズ調査を実施
- (4) 11月頃を目処に、社会インフラの現場ニーズに基づき、ロボット技術の導入分野と、具体的に求められる機能（案）を策定

（参考） 本取組に係るロボット技術に係る政府方針等

「建設ロボット技術に関する懇談会」提言（平成25年4月）

「科学技術イノベーション総合戦略」（平成25年6月7日 閣議決定）

「日本再興戦略」（平成25年6月14日 閣議決定）